

平成29年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	新潟県 SSH 生徒生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA
期 日	平成29年7月25日(火)
会 場	アオーレ長岡
対 象	1年生 2年生(理数科) 3年(理数科サイエンスコース)
目 的	<ul style="list-style-type: none"> 新潟県内の SSH 指定校5校が一堂に会し、生徒の「課題研究」の口頭発表やポスターセッション、参加生徒が協力して課題に取り組む「生徒交流会」を通して、参加した生徒が相互に交流できる場を提供する。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 各代表によるステージ発表(昨年に引き続き富山県より富山中部高校が参加。)今年度は地域の中学生在が初めて参加しました。 ポスターセッション:フロアでポスターを用いて発表65テーマ。 生徒交流会:テーマは「スチロール独楽(こま)」,発泡スチロールの円柱とボール紙を用いて独楽を作り、回転時間を競いました。



ステージ発表



ポスターセッション①



ポスターセッション②



生徒交流会

参加者の感想など	<p>ステージ発表</p> <ul style="list-style-type: none">• 様々な分野の研究発表を聞いて良かった。物理や地学など多くの分野の専門的な発表は1つ1つの完成度が高く、聞いていてとても興味がわいた。• 内容は難しかったのですが、研究の動機や今後の展望などを聞いて子の研究が発展し世の中を良くなっていったら良いなと思いました。• 自校の先輩の発表だけでなく、他校の方の発表を聞くことができるととても新鮮だった。また、英語での発表にレベルの高さを感じた。 <p>ポスターセッション</p> <ul style="list-style-type: none">• それぞれの研究に興味を引かれた。ユニークなものから実生活に役立ちそうなものまで有り、良かったです。• 個別で質問に答えてもらえるところがとてもわかりやすくポスターセッションのよさがわかった。• 多くの研究を見て回ることができた。どのグループもしっかりと考察までなされていて、次につなげようとする姿勢が見られて良かった。 <p>生徒交流会</p> <ul style="list-style-type: none">• コマをできるだけ長く回すために他の学校の人たちと協力し合うことはとても楽しかった。とても有意義な時間であった。• 各チーム個性あふれるアイデアで楽しく取り組めていて良い雰囲気でした。• 1時間30分があっという間で楽しかったです。• 難しかった。「コマ」という型にはめて考え過ぎてしまった。頭をやわらかくしたい。
----------	--